

《担当者名》川端 里香（非）

【概要】

学習指導要領の「特別活動」とは、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題の解決を目標としている。特別活動の領域は、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事の3つからなる。この科目では、特別活動の意義、目的および現状と課題について理解をする。また、特別活動と学年活動の違いや各教科との往還的な関連等を教育課程全体で取り組む指導の在り方を学ぶ。更に、「チームとしての学校」の視点を取り入れ、模擬授業やロールプレイングを通し、特別活動の展開に必要な指導法を学ぶ。

【学修目標】

特別活動の意義、目標及び内容、指導の在り方を理解する。また、以下の項目に関する理解をとおして、実際に活動の指導を行なう際に必要とされる、知識や素養を身につける。

学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容を理解する。

教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連を理解する。

ホームルーム活動の特質を理解する。

生徒会活動、学校行事の特質を理解する。

教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方を理解する。

特別活動における取組の評価・改善活動の重要性を理解する。

合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義や指導の在り方を例示することができる。

特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	学校教育と特別活動	オリエンテーション（講義計画の概要や学習方法等について理解する。） 特別活動の教育的意義と領域を理解する。	川端
2	学校教育に位置付けられた特別活動の意義	学校教育の歴史と特別活動について理解する。 特別活動の歴史の変遷の概略を学ぶ。（諸外国と日本についても含む。）	川端
3	学習指導要領における特別活動の目標及び主たる内容、各教科等との関連等	学習指導要領における特別活動の目標を理解する。 特別活動の目標と他領域、各教科等との関連について理解する。	川端
4	特別活動における望ましい人間関係と集団	望ましい人間関係と集団活動づくりについて理解する。 リーダーシップ、ソシオマトリック等の教材研究を元に、集団の発達レベルの状況に応じて、生徒へのかかわり方を変える方法を理解する。	川端
5	特別活動における「学級活動」・「ホームルーム活動」の特質	ホームルーム活動の目標、内容、指導計画について理解する。 中学校との比較や実践の留意事項について理解する。	川端
6	特別活動の実際（1） 「ホームルームづくりの指導」	ホームルーム組織づくりや自主的な活動の指導、その具体的な方法（含む教材研究）を学ぶ。 【ロールプレイング：席替え】	川端
7	特別活動における児童会・生徒会活動、クラブ活動の特質	生徒会活動の目標、内容、指導計画について理解する。 小学校や中学校との比較や実践時の留意事項について理解する。	川端
8	特別活動における「学校行事」の特質	活動の目標、内容、指導計画について理解する。 中学校との比較や実践の留意事項について理解する。	川端
9	特別活動の実際（2） 「儀式的行事の指導」	儀式的行事全般と、入学式及び卒業式では国旗・国歌の指導に留意する具体的な方法（含む教材研究）について理解する。	川端
10	特別活動の実際（3） 「文化的行事の指導」	学習の成果を総合的に生かし、文化や芸術に親しむ心を育てる指導、その具体的な方法（含む教材研究）について理解する。	川端

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		【ロールプレイング：学校祭】	
11	特別活動の実際（４）「健康安全・体育的行事の指導」	健康の保持増進と、体力の向上に取り組む態度を育てる指導、その具体的な方法（含む教材研究）について理解する。 【ロールプレイング：避難訓練】	川端
12	特別活動の実際（５）「旅行・集団宿泊的行事の指導」	見聞を広め、自然や文化に親しむ指導、その具体的な方法（含む教材研究）について理解する。 “模擬授業（修学旅行）”	川端
13	特別活動の実際（６）「勤労生産・奉仕的行事の指導」	共に助け合って生きることの喜びを体得する指導、その具体的な方法（含む教材研究）について理解する。	川端
14	特別活動の指導計画・評価・改善活動	特別活動の全体や年間計画の作成と内容の取扱い、配慮事項や評価活動について理解する。	川端
15	特別活動における家庭・地域住民や関連諸機関との連携	小学校の「クラブ活動」と中・高の「部活動」の取扱い方の指導、特別活動が「チームとしての学校」として連携する大切さについて理解する。	川端

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポ・ト・Formでの理解度把握問題等（20％）、ロールプレイング等（20％）、定期試験（60％）

【教科書】

文部科学省「高等学校学習指導要領解説 特別活動編」（東京書籍）

各講義で講義資料を配布

【参考書】

「最新 特別活動論 第3版」原田恵理子、高橋知己、森山賢一（編著者）（大学教育出版）

文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別活動編」（東山書房）

文部科学省「生徒指導提要」https://www.mext.go.jp/content/20221206-mxt_jidou02-000024699-001.pdf

【備考】

Google Formを活用し、授業時間中にその場で学生の理解度を把握する。

【学修の準備】

1．小中高校時代の特別活動の内容（どんな活動を行ったか等）の要点をノートに整理し初回授業時に発表できるようにしておくこと。

2．『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』の第1章総説を事前に読んでおくこと。

3．予習：次回の授業範囲の教科書を読んで、理解しておくこと（40～80分程度）。

「学習指導要領の指定箇所を読む」「活動の計画を考える」などに関する事項を指示する。

復習：授業終了時に指示する課題を行うこと。（40～80分程度）。

「授業展開の工夫を考え深めること」「次回の授業冒頭の振り返り問題のために復習」などに関する事項を指示する。

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の「特別活動の指導法」に該当する。

【実務経験】

学校教員（家庭、福祉）

【実務経験を活かした教育内容】

学校現場での実務経験を活かし、実践的教育を行う。